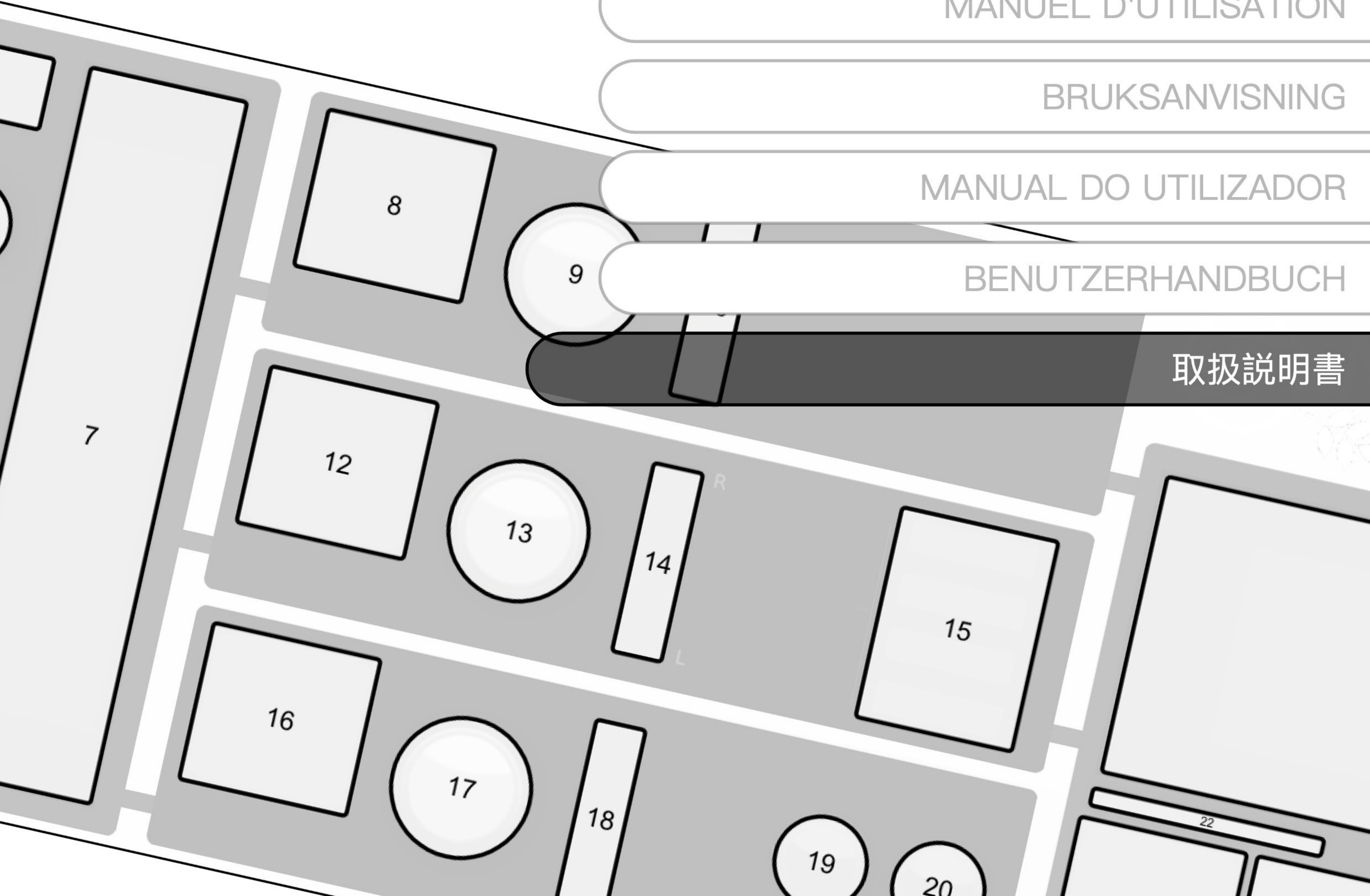




Nanomix

version 1.0.6

- USER'S MANUAL
- 用戶手冊
- MANUAL DEL USUARIO
- MANUEL D'UTILISATION
- BRUKSANVISNING
- MANUAL DO UTILIZADOR
- BENUTZERHANDBUCH
- 取扱説明書



本マニュアルに記載されている情報は、予告なく変更されることがあります。このマニュアルに記載されているソフトウェアは、ライセンス契約または非開示契約に基づいて提供されています。ソフトウェア使用許諾契約書には、その合法的な使用条件が明記されています。本マニュアルのいかなる部分も、FKFX Audio の書面による許可なく、購入者の私的使用以外の目的で複製または転送することを禁じます。本マニュアルに記載されているその他の製品、ロゴ、会社名は、各社の商標または登録商標です。

警告

重要：本ソフトウェアをアンプ、ヘッドホンまたはスピーカーと組み合わせて使用する場合、永久的な聴覚障害を引き起こす可能性のある音量を発生させることができる場合があります。大音量や不快な音量での長時間の使用はおやめください。難聴や耳鳴りを感じたら、耳鼻科医に相談してください。

注意：機能または特徴の操作に関する知識不足のために発生したサービス料（ソフトウェアが意図したとおりに動作している場合）は、メーカー保証の対象外であり、所有者の責任となります。本書をよくお読みになり、販売店にご相談されるようお願いします。

インストール

プラグインをインストールするには、提供されたZIPファイルをダブルクリックし、インストール実行ファイルをダブルクリックし、それがさまざまな手順を案内させる。

注：Windowsでは、プラグインをVST/VST3フォルダに直接インストールすることもできます。"DIRECT INSTALL" フォルダを参照してください。

MACOSXでは、様々なプラグインフォーマットを選択することができます。

NANO MIXをご利用いただきありがとうございます！

このプラグインは、サウンドエンジニアからのアドバイスに基づいて開発されました。

NANO

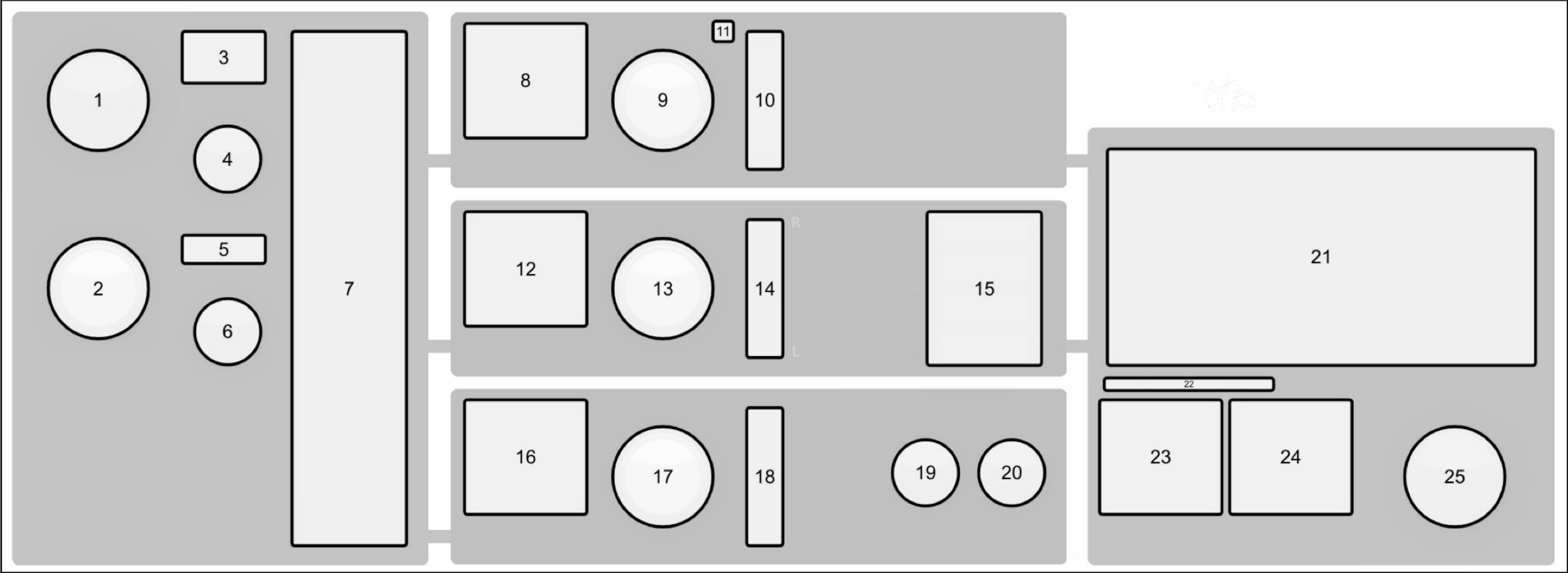
MIXの目的は、人間の知覚の閾値以下で、自律的かつ微妙にレベル変動を自動化することで、あなたの時間を節約することです。

これらの小さなバリエーションに使用されるカオス・モジュールは完全なランダムではないので、ループ再生モードでも同じオートメーションを同じ場所に維持することができます。

パン・モジュールも含まれており、VSTバージョンにはMIDIモジュールもあります。

概要

下の図は、ソフトウェアの各機能の番号と、対応するページ番号を示しています：



プラグイントップ	p. 4
ロッキングシステム	p. 5
ユーザーロックシステム	p. 6
オプション	p. 7
1 – 5	p. 8
6 – 14	p. 9
15 – 20	p. 10
21 – 25	p. 11

プラグインの上部には以下のグローバル機能がある：

1 – ロゴをクリックすると、プラグインの "バージョン情報 "ウィンドウにアクセスできます。

2
この部分には、現在ロードされているPRESETセクションの名前が含まれています。他のセクションからPRESETをロードすることで、このセクションを変更することができます。

3
最後に読み込んだPRESETをお気に入りに追加するには、星印をクリックしてください。もう一度クリックするとお気に入りから削除されます。PRESET メニューのお気に入りに対応するセクションには、オレンジの星印が付いたすべてのPRESET が含まれます。

4 – PRESETをランダムに現在のセクションにロードします。

5 – 2つの矢印を使って、アルファベット順に素早くPRESETSをロードします。

6 – 最後にロードしたPRESETが表示されます。この名前をクリックすると、PRESET メニューが表示されます。

7 – 名前を囲む星印は、PRESET が変更されたことを示します。

8 – この十字を押すと、現在の設定が PRESET として保存されます。新しい名前を英数字キーパッドで入力し、ENTERを押して保存します。ESCを押すと保存がキャンセルされます。プリセットはセクション(2)に保存され、メニューのユーザーカテゴリにも保存されます。

9.プラグイン入力信号メーター。信号が強すぎる場合は赤く表示されます。このメーターをクリックすると、より正確な表示になります。もう一度クリックすると、クラシックな表示に戻ります。

10
プラグイン出力信号メーター。信号が強すぎる場合、赤で表示されます。このメーターをクリックすると、より正確に表示されます。もう一度クリックするとクラシック表示に戻ります。

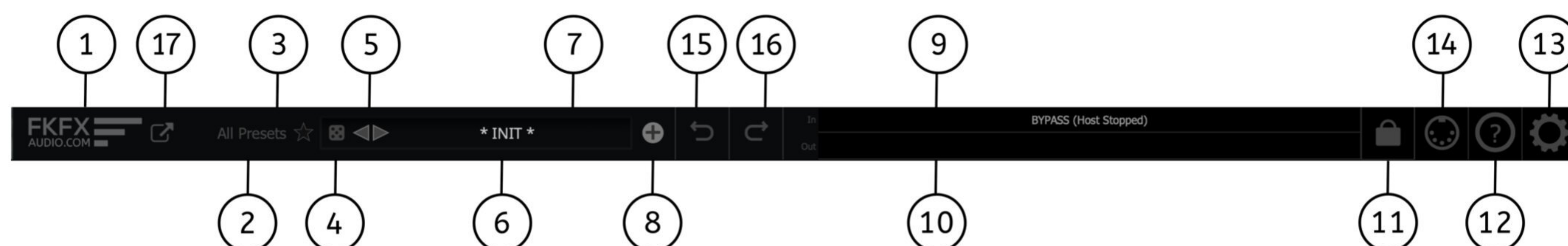
11 – LOCK システム、クリックすると LOCK システムで PRESET ロードリング・システムにアクセスします。このマニュアルの次のページの LOCK セクションを参照してください。

12 – インタラクティブ・ヘルプ：このシンボルをクリックすると、英語のインタラクティブ・ヘルプ・パネルがアクティブになり、プラグインの様々なコントロールにマウスを移動すると短い説明が表示されます。もう一度クリックすると、インタラクティブヘルプパネルが閉じます。

13 – Plugin Options:
このシンボルをクリックするとオプション・パネルがアクティブになり、もう一度クリックするとオプション・パネルが閉じます。オプションの詳細については、次のページのマニュアルセクションを参照してください。

14 – MIDI Learn:
このシンボルをクリックし、コントロールをクリックすると、プラグインのコントロールにMIDIコントローラーを割り当てることができます。MIDIの割り当てを解除するには、割り当てを解除するコントロールをクリックすると同時にshiftを押します。

注：VST3バージョンではMIDIコントローラーを入力できませんので、MAC OSXではAudioUnitバージョンを、Windows PCではVSTバージョンをお使いください。



NANO MIXには、あらかじめ定義されたロックモードと、ユーザー定義のロックモードがある。

ロックモードでは、ロックされているコントロールの値を維持したままPRESETをロードすることができます。

事前定義されたロック・モードは、テスト・パート（GAUGE）をロックするために使用されます。

LOCK 1 は 1 回、LOCK USER は 2 回押します。

LOCK アイコンはプラグインの右上にあります。

ロックされたコントロールは赤くハイライトされます：



NANO MIXにはユーザー定義のロックモードがある。

ロックすることで、ロックされているコントロールの値を維持したままPRESETをロードすることができます。

ユーザー・ロック・モードを有効にするには、マウスの右ボタンで LOCK アイコンを押すだけです。

LOCK アイコンはプラグインの右上にあります。

ユーザーロックモードでは、PRESETS がロードされたときにどのコントロールをロックするかを選択できます。

コントロールをクリックするだけで、ロックの有効/無効を切り替えることができます。

マウスの右ボタンでメニューにアクセスし、すべてのロックを無効にする (LOCK NONE)、またはすべてのロックを有効にする (LOCK ALL) ことができます。

このメニューから、ユーザー定義のロックモードを終了することもできます (LOCK EXIT)。

ロックされたコントロールはオレンジ色で強調表示されます。

プラグインのオプションパネルにアクセスするには、プラグインのインターフェースの右上にある歯車をクリックするだけです。NANO MIXには5つのオプションがあります：

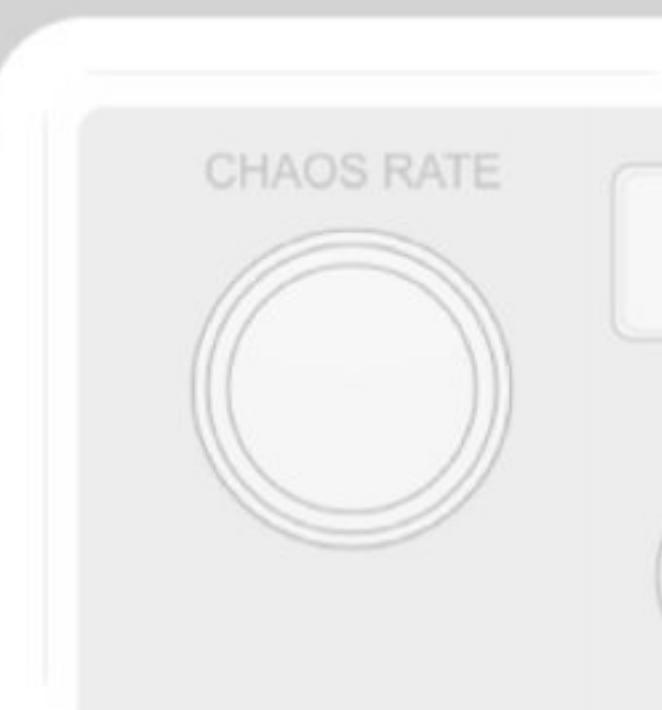
- 高速アニメーション(Fast Animation)"：プラグインのインターフェースを最高速度で描画します。
- マウスホイール (MW) ：マウスホイールを使ってコントロールを変更できるようにします。
- Mouse Hide": コントロールの編集時にマウスを隠します。
- R.Click knob Menu": 非連続コントロール上で右クリックを使用してメニューにアクセスできるようにします。
- Contrast Labels": すべてのコントロールのラベルを見やすくするオプション。

このコントロールは、CHAOSモジュールのスピードを変更するために使用します。

CHAOSサイクルは可変であるため、このコントロールの値は目安である。

例えば、最も遅い値は64回の測定に対応するが、64回の測定サイクルは存在しない。CHAOSモジュールの変動が非常に遅くなることを単純に推定できる。同様に、1つの測定の最も速い値を選択した場合、1つの測定のサイクルはないが、より速いカオス的な変動がある。

CHAOSはホストが停止すると停止し、曲が再生されると再起動することに注意してください。



このコントロールでは、CHAOSモジュールの数値を選択できます。CHAOSによって生成される形状は完全なランダムではなく、この数値を変更することで生成されるカーブが変化します。

NANO MIXを使用すると、各再生で同じオートメーションによる演奏を得ることができます。

このコントロールをダブルクリックすると、ランダムな値を割り当てることができます。2つのインスタンスでこのコントロールの値が同じ場合、CHAOSによって生成されるバリエーションはどちらのプラグインでも同じになることに注意してください。

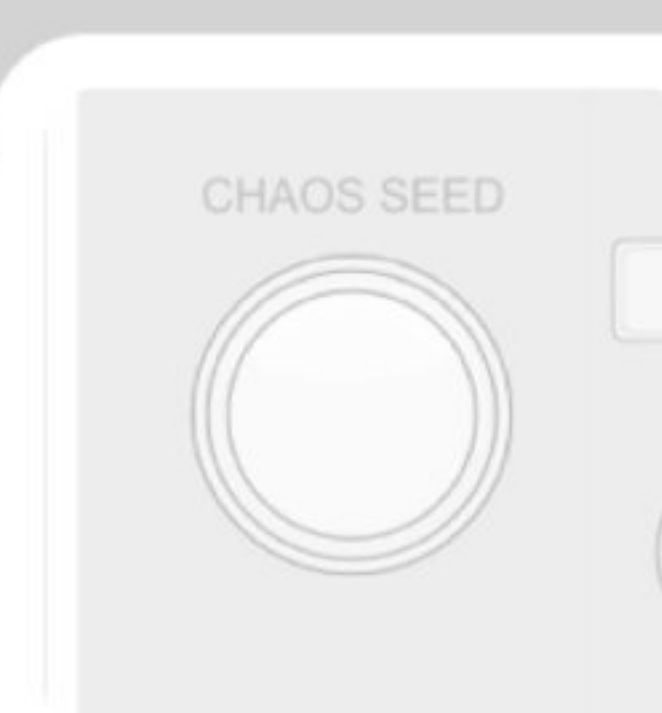
重要な注意：カオスジェネレーターはセミランダムで、ホストの再生開始時の小節番号に基づいています。例えば、あなたの演奏が3小節目から始まる場合、それぞれの演奏が3小節目から始まる限り、同じCHAOSバリエーションが得られます。

しかし、ある演奏が3小節目から始まり、別の演奏が4小節目から始まる場合、CHAOSによって生成される値は異なります。

重要な注意2：NANO

MIXが最初にロードされると、このコントロールには1から100の間のランダムな値が割り当てられます。つまり、複数のNANO

MIXを異なるトラックで使用する場合、CHAOSによって生成されるバリエーションは各トラックで異なることになります。



このコントロールをアクティブにすると、CHAOSを使用してレベルテストを実行できます。

値を動かす一時的な

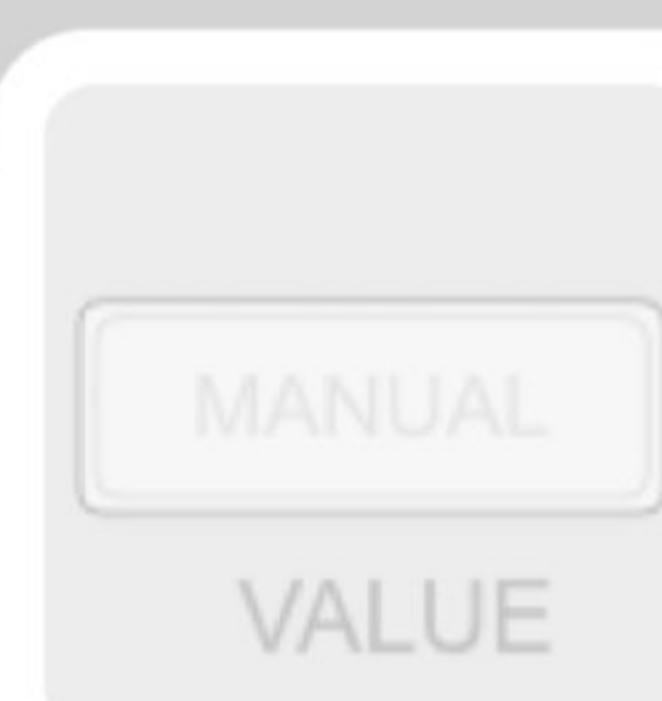
LFO



このコントロールは、CHAOSモジュールのGAUGEテスターのスピードを変更するために使用します。GAUGEがマニュアルモードの場合、このコントロールは無効になります。



CHAOS値を手動で変更するには、このコントロールをアクティブにします。



このコントロールにより、CHAOSのレベルをリアルタイムで操作し、その結果をLEVEL、PAN、MIDIモジュールで聞くことができます。



インターフェースのこのエレメントは、リアルタイムでCHAOSモジュールのステータスを表示します。

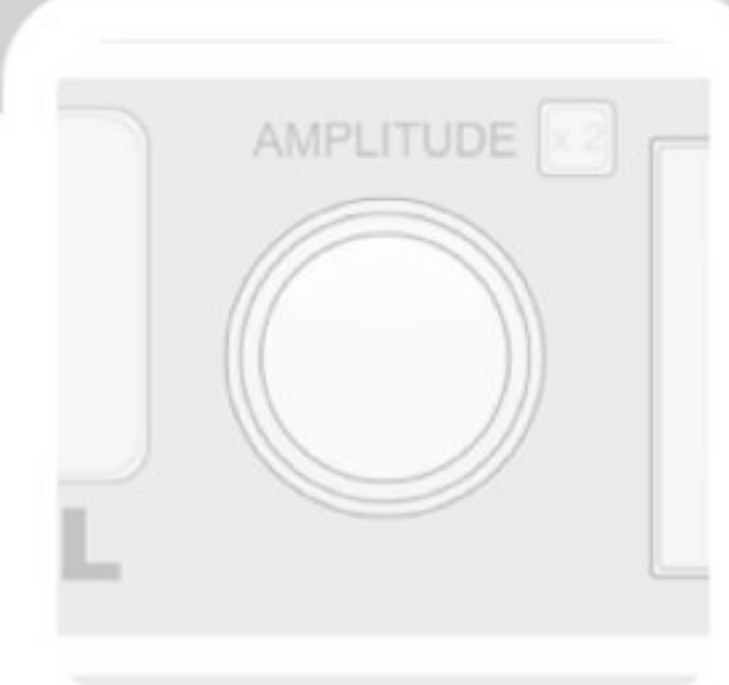


NANO LEVELと呼ばれるレベルチェンジモジュールをアクティブにする。

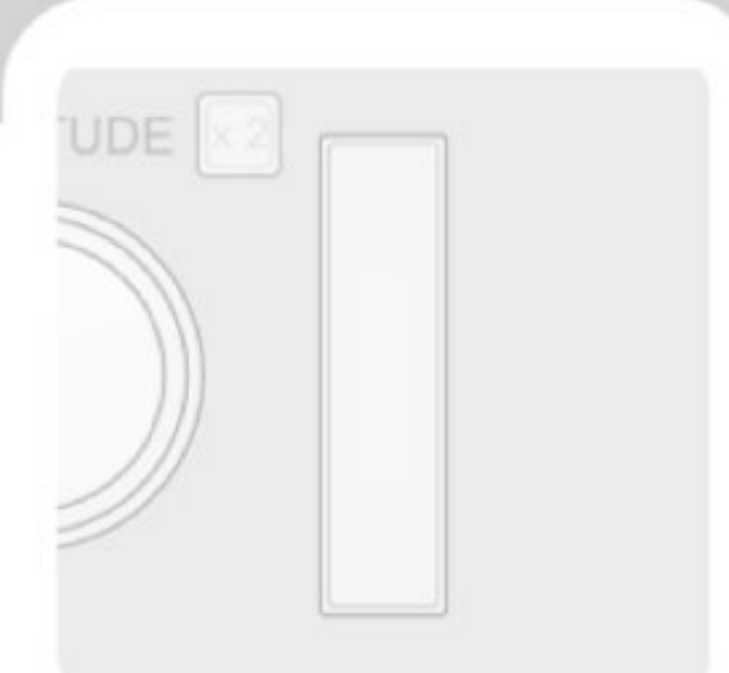
amplitude でレベル変化の振幅を調整します。



このコントロールは、レベル変動の振幅を変更するために使用します。例えばゼロの場合、レベルは変わりません。異なる値（例えば最大3dB）に設定すると、オーディオの音量はCHAOSに従って変化しますが、指示されたデシベルの振幅の範囲内に収まります。



このインターフェースの要素は、レベル変更のステータスをリアルタイムで表示します。



インターフェースのこのエレメントにより、適用されるレベル変化の振幅を2倍にすることができる。



NANO PAN レベルチェンジモジュールを起動します。

このモジュールにより、生成されたカオスレベルを使用して、オーディオ入力のパンニングをごくわずかに変更できます。

レベル変更の振幅を調整するにはAmplitudeを使います。

このモジュールにはいくつかのタイプのパンニング（PAN LAW）があります。

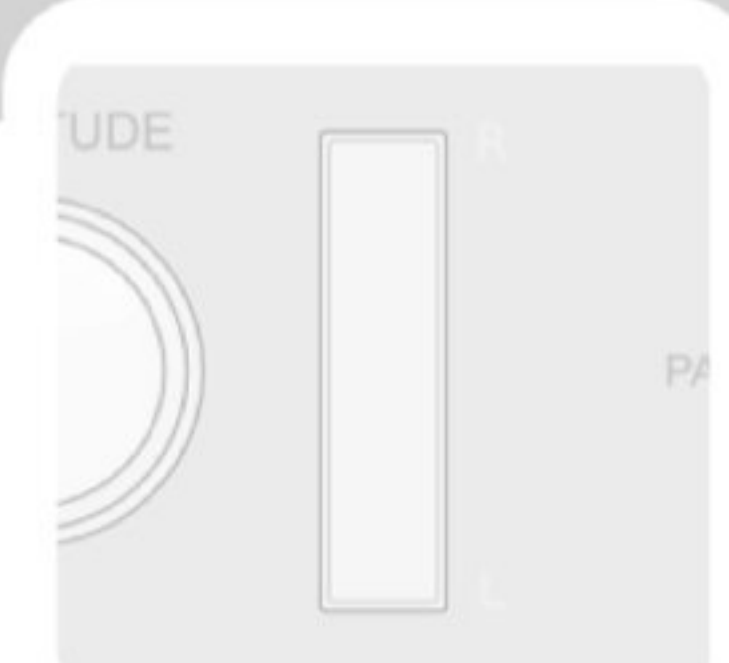


パン変動の振幅を変えるコントロールです。

オーディオのパンはCHAOSに応じて変化します。



インターフェースのこの要素は、パン変更のステータスをリアルタイムで表示します。



ここで適用されるパンニング法を選択することができます：

– パン法：3 dB

3dBのゲイン補正を伴うパン法は、信号が中央に配置されたときに、音量が低下して聴こえるのを防ぎます。この方式は、ステレオ・フィールドで音を左から右に移動させるときに、一貫した音量バランスを維持するためによく使われます。

– パン法：4.5 dB

4.5 dBゲイン補正パン則は、3 dB則よりもさらに顕著な音量補正を行います。この方式は、パンニング時に知覚される音量を一定に保つために、より積極的な音量補正が必要な場合に最適です。

– パン法：パワー

パワー・パン・ロー（またはサイン・ロー）は、ゲインを計算するために三角関数を使用し、より自然でバランスのとれた左右チャンネル間のエネルギー配分を保証します。この方式は、サウンドのパワー配分という点で、より自然でバランスのとれた結果を得るために好まれます。

– パン法：リニア

リニア・パンニングは、左右のチャンネルに均等に信号を分配します。この方法はシンプルでわかりやすく、直線的なトランジションが必要な場合によく使われます。しかし、ステレオ・フィールドの中央で音量が損なわれると感じられることがあります。



MIDI コントローラチェンジモジュールを有効にします。

このモジュールを使用すると、選択した MIDI コントローラをごくわずかに変更できます。

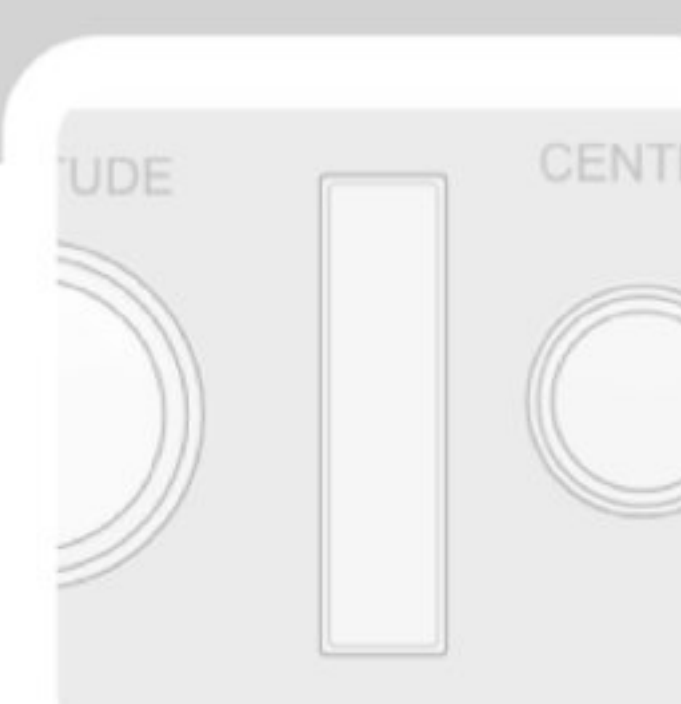
MIDIコントローラー出力はプラグインのVSTフォーマットでのみ利用可能です。



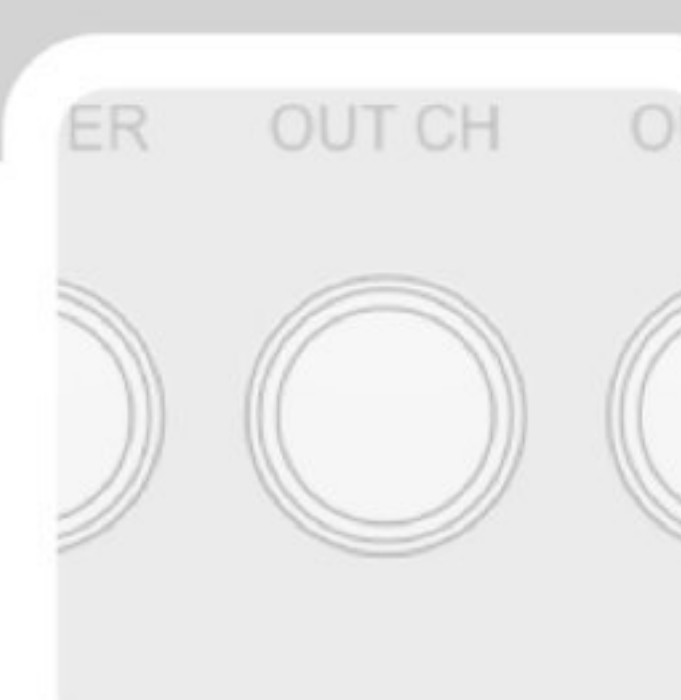
このコントロールはMIDIコントローラーの変動振幅を変更するために使用します。



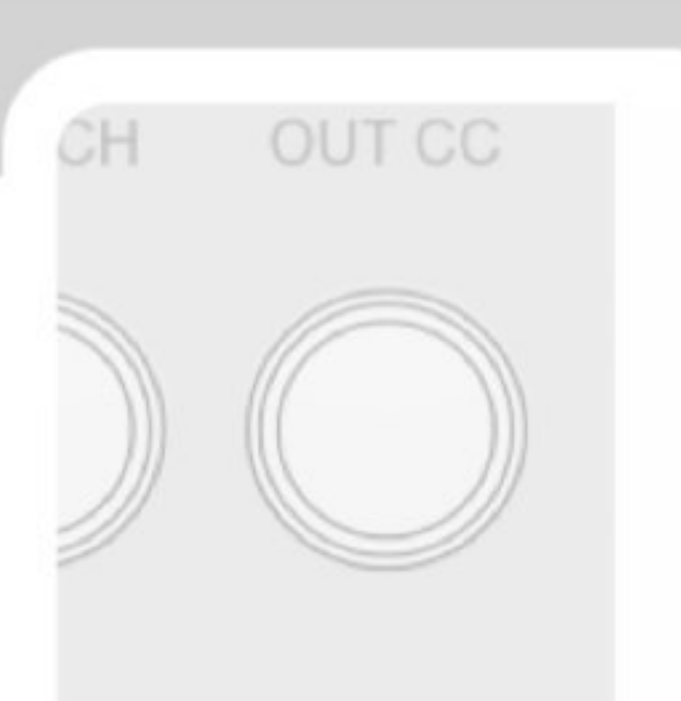
インターフェイスのこのエレメントは、MIDI出力の変更状況をリアルタイムで表示します。



MIDIコントローラーのMIDIチャンネルを変更するコントロールです。



このコントロールは、プラグインの MIDI 出力で変更される MIDI コントローラーの番号を変更するために使用します。



インターフェースのこのエレメントは、プラグインの入力や出力を表示する。



このコントロールは、プラグインのオーディオ入出力の表示モードを変更するために使用します。



このコントロールは、プラグインのオーディオ入力の表示をアクティブにします（白/グレー）。



このコントロールは、プラグインのオーディオ出力の表示をアクティブにします（緑色）。



このコントロールは、ビューアの速度を変更するために使用される。

